



Title: 夏休みは図書館で

中央図書館のお隣、Nガラス店の軒先にきれいな薄紅の花をつけた一株が。あれっ、コスモス？えっ、もう？コスモスは秋じゃないの？山口百恵だって「♪うす紅の秋桜が秋の日の／何気ない日溜りに揺れている」と歌っていたじゃないの。

今は早生のコスモスがあって夏から楽しめるのだそうで、勉強になりました。

❁ 灰色文献と図書館

図書館用語で「灰色文献」というものがあります。初めて目にする方も多いでしょう、広辞苑（第六版）にも載っていませんし。少し長くなりますが、日本図書館協会発行の『図書館用語集（三訂版）』によると、

【灰色文献 はいろいろぶんけん】通常の出版物の流通ルートに乗らない資料で、容易に購入できず、その存在すら確認しにくい、入手の困難な文献のこと。白書類等を除く政府文書、政府関係機関・非営利団体等の研究調査報告書や提言等、民間団体の作成する報告書、意見書等の資料、セミナー等の配布資料、学会等の会議録、市場動向調査報告書類、企業内出版物、テクニカル・レポート、学位論文等、利用者への配布がきわめて限定されている文献を指している。なお、現在はインターネットで公開されているものも多くなり、定義も変化してきつつある。

ということです。

インターネットの普及に伴い、また平成13年の情報公開法施行以来、上記の灰色文献とされる各種文書がネット上で公開されることが増えました。しかし、全てがネット上にアップされるわけではなく、また載ったとしてもいつの間にかアクセスできなくなっていたという経験は多くの方がされていると思います。

公共図書館として灰色文献の収集に努めなければならないのは、何をおいても地域の情報、いわゆる郷土資料です。中央図書館では1階カウンター近くに郷土資料をまとめて置いています。黄色い背ラベルに「郷土」とついています。もっともこれらはごく一部で、他は資料保管庫にあります。資料保管庫のものは貸出しできませんが、一部を除き館内で利用することはできますので、カウンターでおたずねください。

先日、県外の方から電話がありました。祖父が明治20～30年代に大館北秋鹿角で小学校の校長などを務めていたが、何年か空白の期間がある。大館で法事があるので、その時に関連した資料を見せてほしいとのことでした。

明治20～30年代といえば百年以上も前です。明治10年前後に設立された小学校は意外に多くて、そういう学校は概ね百周年を機に記念誌を発行しています。また閉校や統合した学校では閉校記念誌が作られています。これらが灰色文献なのです。大概は図書館に寄贈してくれますが、必ずしも網羅されているわけではありません。

その方はすでにくつもの学校の記念誌を調べていたので、図書館ではそれ以外の学校をあたってみました。まず比内図書館にあった八木橋小学校の廃校記念誌で、校長だった記録が見つかりました。同時期に西館小学校の校長もしていたので、兼務だったのでしょか。もうひとつ早口小学校は、中央図書館にも田代図書館にも所蔵がありません。歴史が古いのは間違いないので、教育委員会に記念誌の有無を尋ねる

とないとのこと。念のため学校に電話してみました。掛けてみるもんですね、ありました、百周年記念誌。めでたく中央と田代に置く分をいただきました。郷土資料として末永く保存活用します、ありがとうございます。ちなみにくだんの方の名前はありませんでした。

ということで、八木橋小、早口小ほか数校の情報提供ができました。在籍しなかったというのも意味ある情報なのです。図書館としても、各学校の記念誌だけでなく各自治会とか企業とか団体の資料が、探せばもっと地域に埋もれているはずで、今後とも一層の努力をしていこうと思います。書庫の容量の心配はありますが……。

❁図書館バッグづくりと特別なおはなし会

大きな休みの期間には大きなおはなし会。中央図書館の「夏休みワクワクドキドキおはなし会」は8月4日（木）10時から。おはなしの森の皆さんと、市内3高校図書館委員会のコラボで毎年大人気です。どなたでもお気軽にお越しください。

8月18日（木）の中央図書館「紙でオリジナル図書館バッグをつくろう！+ミニおはなし会」ですが、まだ定員に達していません。小学生対象で保護者と一緒でもOKです。7月31日（日）締切りです。自分だけの図書館バッグを作って自慢しよう（夏休みの工作になるかも）。中央図書館 42・2525へお電話を。（陽）